

④ いちのみや

議会だより



第174号
2020.2

町のホームページで議会だよりや議会の録画
中継、会議録等を見ることができます。

<http://www.town.ichinomiya.chiba.jp>

一宮議会だより

検索

新成人 おめでとう！

- 平成30年度決算を承認 …………… (2)
- 決算審査特別委員会報告 …………… (3)
- 決算認定討論、決算要望 …………… (4)
- 12月定例議会で決まったこと …… (5)
- 議案審議賛否一覧、
議長・議員が出席した主な行事… (6)
- 一般質問10名の議員より (7) ~ (17)
- 研修会報告・編集後記 …………… (18)

上総とんび (町指定文化財)
※この図柄は文化財指定の独自のものです。
図柄の転写・模写・複製は固く禁じます。

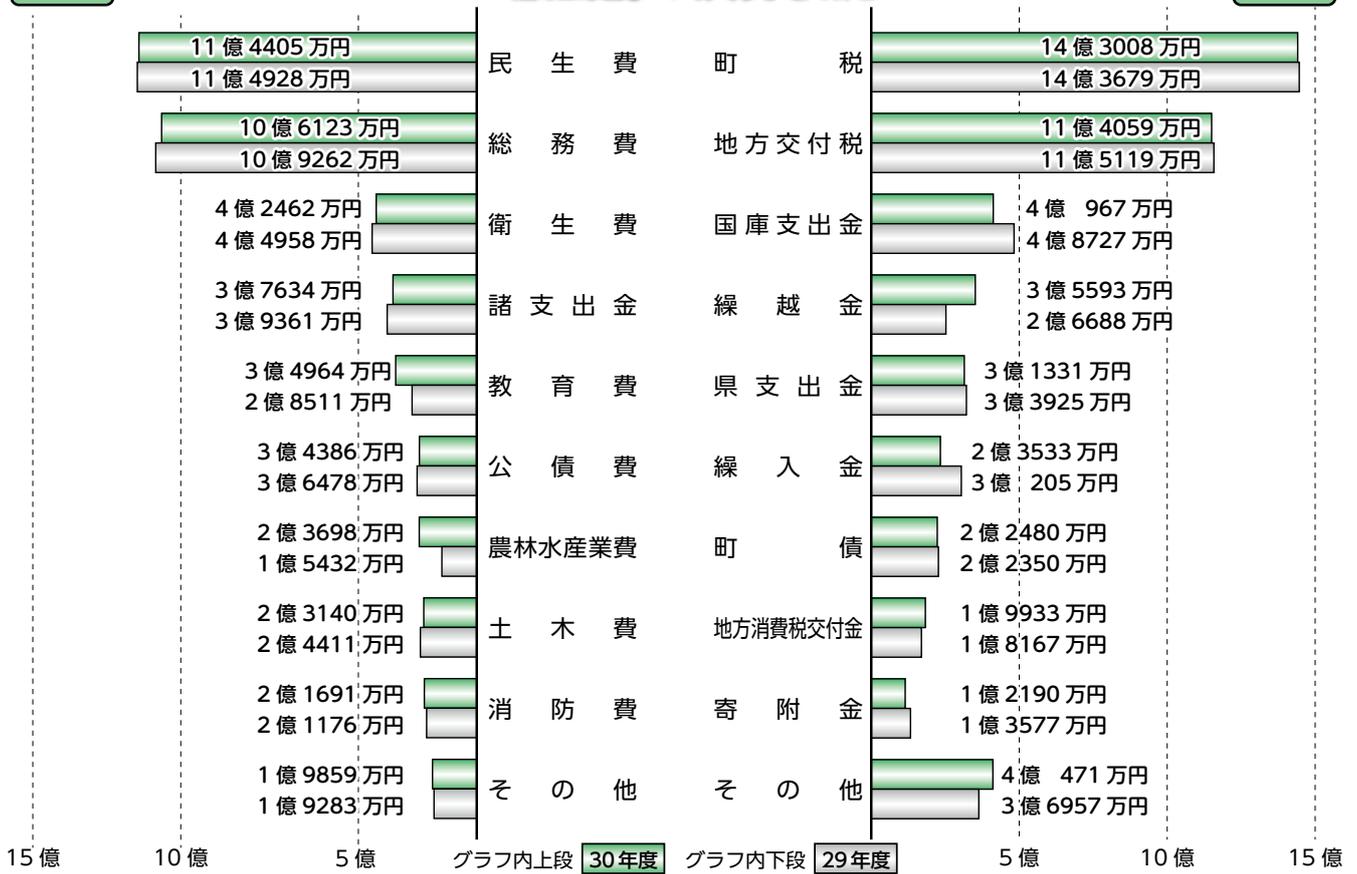


令和元年第4回一宮町定例議会は、12月6日に開催され、町長の行政報告をはじめ、閉会中の継続審査となっていた平成30年度各会計の決算審査報告や、10名の議員による一般質問が行われました。
また、議案として専決処分の承認1件、条例の制定2件、補正予算2件、同意案1件が提出され、原案のとおり可決しました。

平成30年度決算を承認

土地改良施設維持管理適正化事業補修工事6150万円や一宮小学校屋外運動場整備工事4557万円、上総一ノ宮駅東口開設詳細設計委託料3659万円など、平成30年度の決算が承認されました。

歳出 決算額：45億8366万円 **一般会計の決算状況** 決算額：48億3571万円 **歳入**



各会計の決算状況

各会計の決算額 (単位：円)

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	4,835,713,422	4,583,667,591	252,045,831
国民健康保険事業特別会計	1,585,651,323	1,537,727,379	47,923,944
介護保険特別会計	1,053,301,939	1,031,977,635	21,324,304
後期高齢者医療特別会計	147,710,041	147,659,441	50,600
農業集落排水事業特別会計	99,281,942	95,845,048	3,436,894
合計	7,721,658,667	7,396,877,094	324,781,573

決算審査
特別委員会報告

決算審査特別委員会 報告

(令和元年10月28日～29日開催)

平成30年度の予算執行が適正に行われたか審査を行い、一般会計ほか全ての特別会計について、認定すべきものと決しました。

審査で出された
質疑・回答

《一般会計》

【総務課】

問 町の借金の総額は、今現在いくらあるのか。

答 前年度末現在で、33億5377万円である。

【秘書広報課】

問 広報の業者はどのように選定しているのか。

答 複数の業者から見積を取り選定している。

【企画課】

問 小湊バス補助金の支出について、大喜方面への利用が少なく、撤退しても良いのでは。

答 海岸行きのバスと連動しており、バスの運行がなくなると、海岸方面の子供達の通学に支障が生じる。

【福祉健康課】

問 がん検診受診者が減少しているが、どう考えているのか。

答 胃がん検診は集団でバリウム検査を行っているが、胃カメラ希望者の個別受診増加、その他により集団検診が減少。今後、各種検診の個別受診も考えていきたい。

【子育て支援課】

問 今年度の支援員募集はどうなっているのか。

答 長期休業の時期は、支援員の人数が倍必要となるため、アルバイトを雇っている。平日についても増員し、効果的な支援員の配置を考えている。

【産業観光課】

問 海水浴場開設事業費1380万円を支出しているが、入込客が近年減少傾向である。今後プールなどの施設を設置する考えは。

答 海水浴客は減少しているが、現在プール設置の予定はない。

【教育課】

問 一宮号の維持管理について、バス事業をリースへ切替える案はあるのか。

答 年間を通じた利用者の実情や年間維持管理経費を踏まえ、新規購入や業者委託、リースも含めて精査している。

《国民健康保険事業特別会計》

問 国保広域化の利点や事務の煩雑さなどはどうか。

答 県が財政運営の主体となり、町は県に納付金を収め医療給付に必要な交付金を受けようになった。

医療費や所得水準により県内市町村で按分されるため、高額な医療費が発生した場合、2～3年後に納付金が増加する。今後の状況をみていきたい。

県内で国保加入者の資格情報を共有できるよう、異動情報を日次で連携して事務を行っている。

※質疑・回答は紙面の都合により、一部のみの掲載です。



現場踏査(上総一ノ宮駅東口工事現場)



現場踏査(一宮小学校)

決算認定 討論

《一般会計》

反対 サーフイン大会補助金は十分な根拠を

鵜野澤一夫議員

QS6000サーフィン大会の補助金は、大塚実海と緑の基金条例を改正してまで2000万円を捻出した。この大会は、十分な根拠や計画に基づき、町や町民に開催効果が十分に還元された内容とは思えない。大会の決算報告の内容も不明確な部分があり、反対する。

賛成 住民ニーズに配慮され評価できる

吉野繁徳議員

歳入は、国・県補助金、各種基金の有効活用など財源補填が図られている。歳出は、いちのみや保育所整備、一宮小学校屋外運動場整備や、東京五輪準備事業など、安心・安全なまちづくりが進められた。多様化する住民ニーズに配慮され、限りある財源も有効活用されており評価できるものである。



決算審議中 (特別委員会)



平成30年度 決算要望

1. 全ての会計において、収入未済額がある。負担の公平性を確保する上からも収入未済額の解消は重要であり、納入者の生活実態等を十分考慮した上で、収入未済額の解消に努められるよう要望する。

2. 学童保育を推進していくためには、指導員の確保は重要であり、子ども達の安全・安心のため、十分な受入れ体制が整えられることを要望する。

3. 町の各公共施設は、老朽化が進んでおり、今後、改修・改築等に多額な経費が見込まれる。厳しい財政状況を考慮すれば、一度に整備・改修して行くことは困難であり、優先順位を見極め、計画的に整備されることを要望する。



学童保育わんぱくクラブ

ご存知ですか

議会は年4回(3月・6月・9月・12月)開催される定例会と、急を要する特定の案件を審議するための臨時会があります。

開催日は、議会だよりに次回定例会の予定をお知らせしているほか、議会開催日の3日前から、防災行政無線でもお知らせをしています。

議会開催中は、住所・氏名等を傍聴受付簿に記入するだけで、どなたでも議会を傍聴することが出来ます。

また、インターネットによる議会のライブ中継もこなっています。

録画中継は議会終了後、約2週間で見られるようになります。

町のホームページから、議会・委員会をクリックしてインターネット中継の項目がありますので、そこからご覧いただけます。

定例議会で決まったこと

一宮町会計年度任用職員の
給与及び費用弁償に関する
条例の制定
(議案第1号)

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行により、今まで臨時職員やパートなど様々な形で任用された非常勤職員等について、全国的に統一された会計年度任用職員制度に移行されます。そのため、勤務条件などの規定を整備します。

地方公務員法及び地方自治法の一部
を改正する法律の施行に伴う関係条
例の整備に関する条例の制定
(議案第2号)

一宮町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定により、関連条例の字句の整理等、条例の一部を改正します。

同意

固定資産評価委員に次の方が同意されました。

委員 細谷 俊夫さん (新地区)

令和元年度 補正予算の概要

12月定例会

今回の一般会計補正予算の主なものは、台風15号被災農業者への支援金、被災住宅修繕緊急支援補助金等で、また10/25大雨による道路補修工事などが追加され原案のとおり可決しました。

各補正予算の主な内容は、次のとおりです。

※概算単位：万円（1万円未満四捨五入）

会 計	補正額	補正後予算総額	補正の主な内容
一般会計補正予算 (第5次) 専決処分	1433 万円	47億8495 万円	<ul style="list-style-type: none"> ・台風15号、19号による災害対応費 846 万円 ・台風15号、19号による小中学校修繕費 587
一般会計補正予算 (第6次)	1億6823	49億5318	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時職員手当等（10/25大雨対応） 132 ・重度心身障害者（児）医療給付助成事業 101 ・母子保健事業 117 （母子保健情報副読本登録化委託料） ・強い農業、担い手づくり総合支援交付金 1億3500 （台風15号被災農業者支援金） ・道路維持管理事業（10/25大雨による緊急対応） 300 ・都市下水道維持管理事業 180 （除塵機設備健全度診断・更新実施設計委託料） ・建築指導事務運営費 1280 （被災住宅修繕緊急支援補助金） ・応急修理業務委託料 300 ・公民館管理運営費（受電設備調査設計委託料） 136
国民健康保険事業 特別会計補正予算 (第2次)	53	14億8694	<ul style="list-style-type: none"> ・電算システム改修委託 16 ・特定健康診査等負担金償還金（前年度精算金） 37

議案審議賛否一覧

議案名	議員名	結果			川城	内山	小関	大橋	小林	鶴沢	鶴沢	藤乘	袴田	吉野	志田	森	鶴野澤	小安	
		議決結果	賛成	反対	茂樹	邦俊	義明	照雄	正満	清水	一男	一由	忍	繁徳	延子	佐衛	一夫	博之	
第4回定例議会 (12月6日)	承認第1号	令和元年度一宮町一般会計補正予算(第5次)の専決処分につき承認を求めることについて	原案承認	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	認定第1号	平成30年度一宮町一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	9	3	○	○	○	×	○	×	退	○	○	○	○	×	-	
	認定第2号	平成30年度一宮町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	12	0	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	-	
	認定第3号	平成30年度一宮町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	認定第4号	平成30年度一宮町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	認定第5号	平成30年度一宮町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	議案第1号	一宮町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	議案第2号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	議案第3号	令和元年度一宮町一般会計補正予算(第6次)議定について	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	議案第4号	令和元年度一宮町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2次)議定について	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	同意案第1号	固定資産評価審査委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

※ ○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、議長は、採決に加わらないため「-」で表示
空欄…無記名投票による採決のため採決結果のみ

【議長・議員が出席した主な行事】(令和元年10月～12月)

10月	
1日	むつざわスマートウェルネスタウン・道の駅・つどいの郷落成記念式典
2日	議会運営委員会 第4回議会臨時会
3日	廃棄物減量等推進審議会
4日	長生郡町村議会議員及び事務局職員合同研修会
5日	東浪見小学校運動会
8日	議会報編集委員会
16～17日	長生郡町村議会議長会議長・局長視察研修(茨城県つくば市)
19日	一宮小学校秋季大運動会
20日	福祉フェスティバル
21日	例月出納検査
27日	芸能音楽祭
28～29日	決算審査特別委員会
30日	九十九里地域水道企業団定例監査

11月	
2日	農林商工祭
3日	加納久宜公没後100年記念式典
5日	後期高齢者広域連合全員協議会
9日	総合文化祭
13日	議長全国大会
15日	七歳児合同祝い 千葉県町村議会議長会正副議長研修会
19日	後期高齢者広域連合定例会
20日	九十九里地域水道企業団例月出納検査 例月出納検査
22日	長生郡市広域市町村圏組合議会定例会

12月	
2日	長生郡市負担金審議特別委員会
3日	議会運営委員会 議員全体会議
	議会報編集委員会
6日	第4回定例議会
13日	議会報編集委員会
15日	東京2020オリンピック競技大会サーフィン競技に関する説明会
18日	障害者福祉会 長生郡監査委員連絡協議会視察研修
19日	日本サーフィン連盟による一宮商業高等学校への学校訪問
20日	例月出納検査
25日	九十九里地域水道企業団例月出納検査 長生郡町村議会議長会臨時会

ここが聞きたい 町の考えを問う

一般質問は、町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点を正し見解を求めるものです。「いちのみや議会だより」に掲載されている内容は紙面の都合上、要点のみとなっています。詳細については、町のホームページ（議会・委員会）から議会会議録をご覧ください。

※ホームページへの会議録掲載は、議会終了後約3ヶ月を要します。インターネット中継から録画配信（議会終了後約2週間で視聴可能）も行っていますので、ご覧ください。

10人の議員が一般質問

※発言内容における年月日は、本誌発行の時期にあわせた表現に改めてあります。

・川城茂樹 議員

P 8

①農業政策について

・小関義明 議員

P 9

①災害対応について

②一宮川改修について

③待機児童問題について

・小林正満 議員

P 10

①ふるさと納税の増加策と今後の利用等について

②防災・災害対応の問題と対策について

③新にこにこサービスや巡回バスなどの公共交通に

ついて

・志田延子 議員

P 11

①休日おでかけパスについて

②「旧いちのみや保育所」の利用について

③「一宮町史」の作成計画と、職員体制の見直し

について

・藤乗一由 議員

P 12

①旧一宮保育所施設の有効利用について

②公共施設や学校施設内の利用環境の整備について

③各種事業計画や調査報告の実態とその活用状況、

問題点などについて

・大橋照雄 議員

P 13

①災害対策の活動状況について

②秘書課は必要なのか

③町の回覧物について

・内山邦俊 議員

P 14

①災害対策について

②中央ポンプ場の改修について

・袴田 忍 議員

P 15

①災害時の検証と対応策について

②南消防署の改築について

③「子ども食堂」への町の支援について

・鵜沢一男 議員

P 16

①風水害の避難対応について

・鵜野澤一夫 議員

P 17

①加納久宜公没後100年記念事業の石碑に

ついて

②QS6000サーフィン大会について

農業振興政策の要点や課題は

答 担い手確保・遊休農地解消を



川城茂樹 議員



問 昨年は自然災害により、農業者には過酷な年であった。農業の持続のために、次の点を伺う。

① 一宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略の雇用創出と事業創出の事業では、シティープロモーションのトマト、梨等の農産物の地域内外に効果的な発信となっている。これらの具体的な取り組み状況。

② 総合戦略の毎年の効果検証の実態。

③ 町独自の農業振興政策の要点や課題についての町長の考え。

産業観光課長 ① 雇用創出と事業創出は、若手農家が法人を立ち上げて運営し、地域の新たな働き場として雇用を創出している。シティープロモーションの中で示されている農産品の地域内外への効果的な発信は、これまで町の特産品であるトマト、メロン、梨等を多くの人に知ってもらうための情報発信などに取り組み、認知度の向上に努めて来た。

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、国内外からの来客

増加が期待されることから、農産物の販売拡大や町の魅力などの情報をさらに発信して行く。

企画課長 ② 一宮町まち・ひと・しごと創生有識者会議において、毎年、効果・検証・評価を実施しているが、公表は行っていない。今後、公表する方向で進める。

町長 ③ 当町の農業の状況を鑑みただけで、担い手確保、遊休農地解消が優先事項だと考えている。今後もし引き続き、長生農業独立支援センターと連携して、新規就農者の確保、育成に取り組んで行く。



シティープロモーションによる
観光キャンペーン (東京国際フォーラム)

一般質問

小関義明
議員



防災対応の充実を

答 関係機関との連携を図る

問 昨年の台風による大規模停電や河川の氾濫、堤防の決壊による浸水被害は、甚大だった。近年、台風の大規模化などによる大雨の頻度が多くなっている。

これを踏まえて次の点を伺う。

① 台風15号による大規模停電で、汚水処理場が電源喪失となり、長期間処理が止まり汚水がマンホールから噴き出す市町村もあった。今後このような事態になった場合、取るべき対応。

② 避難が長期にわたり、透析など生命維持が必要となる人たちへの対応。

③ ペットを連れて避難した人たちへの町の対応。

産業観光課長 ① 電源が喪失した場合、中継ポンプ機能を回復することが必要不可欠となる。その際、非常用電源（発電機）を接続することが有効な手段となるため、維持管理委託業者と協議を行い、対応を検討する。

総務課長 ② 医療行為が必要となる人がいる場合は、避難者カードに記載された病気等の留意点に基づいて判断し、早急に医療機関への搬送を行う。

③ 現在の避難所体制ではペットの同居が難しいことを伝え、自宅の2階や親戚などへの避難をお願いしている。

一宮川改修の進捗は

答 早期完成に向け県と連携

問 昨年10月25日の大雨で、茂原市を含む一宮川上流の河川が氾濫し、甚大な被害が発生した。下流の整備は進んできているが、宮原地区の共有地が未だ河川に残っており川幅を狭めている。

県は一宮川の整備計画を策定後、収用法を適用し整備を進めて行くとのことだが現在の状況を伺う。

都市環境課長 一宮川の整備計画は、平成27年8月に策定済みであり、県収用委員会の裁決申請の手続きをおこなう必要がある。

今後も県と連携を取り早期完成を目指す。

待機児童の現状は

答 待機児童はいない

問 現在、政府や自治体の取り組みにもかかわらず、なかなか解決しない保育所の待機児童問題がある。

待機児童にカウントしなくともよいとされる、隠れた待機児童もいると聞く。当町の現状を伺う。

子育て支援課長 平成29年度までに町内4か所の保育施設合せて定員を90人増やし、現在390人となっている。国の基準を遵守しながら416人の児童を受け入れており、厚生労働省の定義する待機児童はいない。

しかし、現在、保護者が特定の保育所を希望したが入所できず保留となっている児童など3名いるのも事実であり、一時保育や子育て相談室などの支援事業の案内をしている。

小林正満 議員



ふるさと納税の増加を

答 返品品の充実を図る

問 ふるさと納税の増加策と、今後の利用等を伺う。

① ふるさと納税の見直しと、昨年度までの比較は。

② 他の自治体と町の返品品の取扱いの現状は。

③ 次の取り組み改善策を進めてはどうか。

・ 体験型返品品の増加
・ 取扱い事業者増
・ 新商品開発の推進
・ 広告宣伝費にコスト労力をかけ、取扱い事業者の支援体制の整備

企画課長 ① 一昨年11月に返品品原価の上限を寄附

額の5割から3割に引き下げたこともあり、10月末時点で前年比44.2%の約3100万円となった。

② 他の自治体は、米など農産物・海産物が主である。町では、メロン・トマト・梨・日本酒・お菓子・Tシャツ・サーフショップでお買い物等ができるサーフィン満喫券などもある。

③ 返品品の充実や事業者拡大に、引き続き取り組む。広告宣伝費の拡充や体制充実の必要性は、認識している。制約もあるが検討し、実行して行く。

交通弱者への支援強化は

答 ニーズを把握し検討

問 新にこにこサービスや循環バスなどの公共交通による高齢者、交通弱者への支援要望が多い。

早急に検討協議会を立ち上げ、課題等の検討を進めるべきである。次の点を伺う。

① 現状の要望をどう把握しているのか。

② 今後の取り組みは。

福祉健康課長 ① 新にこにこサービスは、ドライブバー等を通じ、利用回数などの声が寄せられている。

産業観光課長 循環バスは、アンケート等により、

通年運行や停留場所などの要望がある。

利用者ニーズを踏まえ、諸経費とバランスに配慮しながら検討して行く。

町長 ② 町の公共交通の現状や課題を分析するとともに、町民のニーズを把握のうえ、検討協議会の立ち上げを考える。

防災・災害対策の充実を

答 地域防災計画の見直しにつなげたい

問 防災・災害対応の問題点と対策について、次の点を伺う。

総務課長 ① 今後の対策のため、会議を実施した。この内容を精査し、県と調整し、町の地域防災計画の見直しにつなげたい。

① 昨年の台風や大雨による問題点への対応は。

② 罹災証明申請者以外の被害状況の把握調査は。

③ 災害弱者の方の、状況について、把握・調査は。

④ 屋外防災行政無線は、長時間停電に備え、バッテリーを長時間型にしてはどうか。

また、戸別受信機も点検調査してはどうか。

⑤ 飲料水型耐震防火水槽は、近隣自治体では13箇所設置されており、町でも早急に設置を進めるべきだ。

① 一連の災害を教訓に、より早い対応に努める。

② 罹災証明の申請があった方の自宅を基本に調査している。

③ 災害弱者の実態調査をすべきだが、予算などを考慮し、対応して行く。

④ 屋外防災行政無線は、非常用電源で対応。戸別受信機の点検調査は物理的にも困難なため、故障の方は連絡をいただきたい。

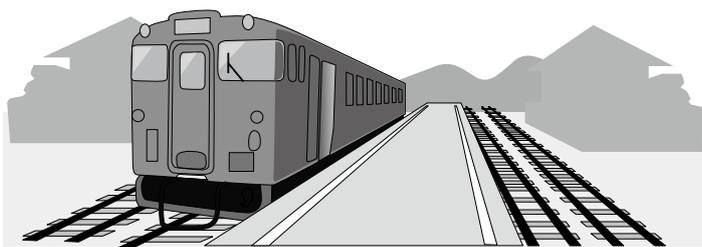
⑤ 早急に必要とは考えていない。他市町村の状況や、必要性を調査する。

志田延子
議員



「休日おでかけパス」の フリーエリア延伸を

答 延伸実現に向け粘り強く要望



問 JR東日本が発売している「休日おでかけパス」は、東京近郊6県が1日自由により降りできる便利な切符だが、このフリーエリアは茂原駅までであり、上総一ノ宮駅からの利用ができない。

東口開設を機に、オリピックサーフィン競技開催地として、上総一ノ宮駅からも利用できないか伺う。

企画課長 町でも、「休日おでかけパス」のフリーエリア延伸は、町民や町外からの来訪者の利便性の向上と、交流人口の増加に資するものと認識している。

これまでも、フリーエリア延伸を毎年要望しているが、具体的進展はない。今後も延伸実現に向け、粘り強く要望する。

一宮町史の見直しを

答 専門家を入れ検討すべき

問 町は、近隣市町村と比べ、歴史文化財を伝える資料の整備保存が遅れている。歴史を後世に伝えるためにも、町史を見直し、作成の計画があるのか伺う。

また、教育委員会では、学芸員が社会教育係の一般事務を行いながら、旧家の資料等整備を行っているうえ更に、資料の寄贈の話もあると聞いている。事務体制の見直し増強を

旧一宮保育所を文化財の 保存・展示スペースに

答 文化財の収蔵場所として検討

問 旧一宮保育所を、文化財の保存・展示スペースとして使用できないか以前質問したが、関係課と協議するとの回答であった。活用方法・計画の進展があったのか伺う。

教育課長 町が多く抱えている歴史文化財の「整理」「保管」のために、2階の2部屋を文化財の収蔵場所に充てる計画を進めている。

展示スペースの活用は、資料収集状況・整理状況に応じて検討する。

図る考えはあるのか伺う。

教育長 55年前の町史のあとがきに「将来この町史の及ばなかったところを補うことを期待する」と記されている。町史作成には、外部の専門家を入れ実施することが必要である。

多くの資料の整備や保存には、職員体制の整備は不可欠で、今後検討して行く。



藤乗一由議員



旧一宮保育所、多目的に利用を

答 町民要望を聞き進めたい

利用者目線で公共施設の整備を

答 意見要望も聞き整備を進める

問 学校や公共施設は老朽化し、利用環境も快適とは言えない。児童生徒や町民の利用者目線で環境の整備を進めるべきだが、今後の方針を伺う。

① 令和2年度予算に具体的な取り組み計画はあるのか。

② 大きなコストをかけずにも、快適に不便なく利用できる整備は可能である。取り組む考えはあるのか。

の結果等に基づき、安全性、利便性、緊急性などを考慮し優先順位をつけ整備を進める。

② 中央公民館、GSSセンターなどの施設は、避難所の指定もあり、利用者の意見、要望も聞き、安全、快適な施設整備を進める。

問 旧一宮保育所の施設を図書館・資料館等の社会教育施設などに有効利用すべきだが、町の考えを伺う。

教育長 現在、同施設2階に文化財収納場所としての活用を進めているが、多目的に活用できる施設として、町民の要望を聞きながら整備を進めたい。



中央公民館

町長 この施設は、災害対策の面での問題を指摘され、保育所を移転した経緯があるため、町民活動の場所として再利用を考える場合、安全面を確認した上で進めたい。

高額な調査報告、生かされているか

答 無駄な支出とは考えていない

問 近年、各種の事業計画、調査報告などを業者委託しながらも、十分活用されていない。

例えば、公共施設等管理総合計画（平成27・28年…842万円）
 サーフोनミクス調査（28年…992万円）
 一宮駅周辺整備調査（27年…988万円）など

27年度からの4年間の主な7件の計画や調査だけでも約5300万円を支出した。

一宮駅周辺整備調査では、町の中心市街地調査をしているが、支出額の割に内容も軽薄で、その後の事業にも活かされていない。

① 現状をどう考え、今後どう活かすのか。

② 職員が調査の内容を知らない事が多いので、後の事業に生かされない。情報共有をどう考えるか。

企画課長 質問の計画等は、一宮町まち・ひと・しごと創生総合戦略などに基づき策定したものである。

① 中心市街地調査は、駅前商店街の空き店舗を再生利用した「すずみね」や一宮駅前観光拠点整備に利用され、町の活性化に役立っている。

公共施設の整備に関しても、今後方針をまとめた

い。

無駄な支出とは考えていないが、今後も留意する。

総務課長 ② 職員間の情報共有は、今後さらに重要となるので、町全般的施策に関心を持って職務にあたるよう指導する。

※こんな質問もありました
 オリジナルピック以後の一宮町の方向性をどう考えるか。

大橋照雄 議員



町民に安全・安心の災害対策を

答 町独自の支援は今後の課題

問 昨年の大型台風で、相次ぐ災害があった。今後、毎年大型台風が来るとの想定が必要である。

そこで、次の点を伺う。

- ① 避難所のGSSセンターに空調設備はあるか。避難者のプライバシー保護の準備は。
- ② 避難所設置等での問題点。
- ③ 非常用電源に活用できるEVやPHVの購入は。
- ④ 防災課の設置検討は、オリンピック後で良いのか。

⑤ 自主避難できない方々への対応と、避難用シェルターの設置は。

- ⑥ 海上のサーファーに津波情報をどう知らせ、避難させるのか。簡易式避難タワーを設置し、警報システムを付けてはどうか。
- ⑦ 長期停電被害に備え、避難所や家庭で自家発電機を所有する促進策は。
- ⑧ 被災者への町独自の支援は。

回覧物で選挙運動？

答 公職選挙法に抵触する部分はない

問 昨年11月24日開催のイベントのチラシについて、伺う。

務と公費を使って行っているようだと町の声がある。考えを伺う。

町共催というが、主催と同じようである。町長挨拶、写真、経歴などがあり、全町に回覧されていた。

町長 日本インバウンド連合会から依頼を受け町が協力したものであり、町が主導したものではない。

9月18日の議会で、町長選挙の出馬表明をしたばかりでもあり、選挙活動を公

また、公職選挙法に抵触する部分はないと考える。

総務課長 ① 体育施設のため、空調はない。プライバシー等保護用具の準備はあるが、数に限りがある。

- ② 台風19号で避難所が想定より多く、避難所の設置が遅れた。今後は適切に対応する。
- ③ EV・PHV車は、今後検討する。
- ⑤ 自助、共助が防災の基本であるため、訓練などの機会を通し、再確認をお願いする。

⑥ シェルターの検討はしていない。

- ⑦ 一宮海岸全域のサーファーへの津波情報通知は難しい。タワー設置も、費用や景観の点で難しい。
- ⑧ 施設の構造や費用面で、すぐの対応は難しい。
- ⑧ 町独自の支援は、今後の課題と考えている。

秘書広報課は本当に必要か

答 情報発信の広報業務を重視

問 秘書広報課には、正職員3名、臨時職員2名を配置し、多額の人件費を使っている。

務も独立させ、秘書広報課とした。
この配置は、29年3月に議会賛成多数で可決し、設置したものである。

税金は、町民のために使うべきだが、考えを伺う。

※こんな質問もありました
(株)アライズの事業に信用被害等の心配は。

副町長 住民と行政が協働のまちづくりには、情報発信が必要で、広報業務を独立させるとともに、秘書業

災害時の復興予算は貯蓄できているのか

答 財政調整基金で対応

内山邦俊
議員



問 昨年の台風15号、19号、21号の影響による豪雨で、甚大な被害を受けたが、町でも一宮川の氾濫が起ころ恐れがある。

町財政に災害復興予算として、貯蓄はあるのか伺う。

総務課長 町は、健全な財政運営を確保するために、財源に余裕のある年度に基金として、財政調整基金に積み立てを行っている。



台風15号による倒木被害

基金はいわば町の貯金であり、経済事情の変動などによる減収や、災害等による予期せぬ支出に充てることのできるものである。

なお、当町の財政調整基金の残額は、令和元年度当初で約7億5千万円となっており、この中から予期せぬ支出である災害復興の予算に充てることのできる。

中央ポンプ場の改修は早急に

答 財政状況を確認し進めていく

問 中央ポンプ場の改修が5カ年計画で進んでいるが、悠長なことを言っている場合だろうか。現場の確認をしたが、一目で状況の悪さがわかるほど劣化は著しいと痛感した。

なぜ今までメンテナンス等を行わなかったのか、早急に予算計上して対応すべきと思うが、考えを伺う。

都市環境課長 中央ポンプ場は、耐用年数を大幅に超過している設備もあり、老朽化が目立つ状況である。改修にあたっては、町単独での実施は財政的に難しい。そのため令和2年度からの改修工事開始に向けて進めている。

ポンプが停止すると、一宮川への強制排水ができずに、開水路から水が溢れだす。雨水は山側から国道を超えて流れるため、田町や舞台、東野地区や駅周辺も含め広い範囲で1m以上の



中央ポンプ場

冠水が予想される。

この状況を回避するために、長寿命化を図りながら、町の財政状況を確認して、見合った計画や工事費を算出し、改修工事を進めて行く。

また、災害時などの非常事態に備え、非常用仮設ポンプを国の支援により配備することも考えていく。

一般質問

袴田 忍 議員



高齢者・障害者への避難誘導は

答 誘導への対応は難しい

問 昨年2つの大型台風と記録的な大雨が相次ぎ、町も住民も対策強化に努めたが、高齢者や障害者など災害弱者への避難誘導が適切に対応できたのか伺う。

総務課長 災害時は、多くの方が避難された。避難情報の発信については、タイミングや内容など、適切に

対応できたと考える。実際に避難する方に対して誘導までは行っていないが、各避難所には職員を配置している。高齢者世帯を中心とした巡回は、民生委員に対応していただく。

南消防署の改築は

答 構成市町村のカバー率を踏まえ見直す

問 昨年9月議会で、郡市広域消防の消防署整備構想が新たに策定され、候補地も新たに選定すべきことが明らかになった。改築は、

急いでも4年先だという。そこで、次の点を伺う。

① 平成27年度に策定された基本構想はなぜ見直しをしなければいけないのか。その理由と経緯は。

② 前回と今回の整備構想はどこが違うのか。

③ 消防署整備は、防災に強いまちづくりの最重要事項である。なぜ新たな構想

を策定する前に議会や町民に説明しなかったのか。独断で決めたのでは、議会・町民軽視ではないか。

総務課長 ① 広域管理者から、組合全体の事業や、財政面の問題等を総合的に判断し、30年度中に方向性を出したいとの方針が示された。

② これを受けて、平成31年第1回組合議会で、郡市の人口減少を考慮し消防体制は、将来的に6署とするとされた。その後、整備計画

の策定を協議することを管理者会議で決定した。今後、南消防署の候補地は構成市町村のカバー率を踏まえ見直しを行う。

問 新たな子ども支援対策として、全国的に広まっている「子ども食堂」が昨年11月に、すずみねを使用し始めた子育て支援対策事業でもある。今後の町の支援策を伺う。

答 課題等を一緒に考えていきたい

問 子育て支援課長 今回の子ども食堂は、民間事業者が主催したもので、町ではチラシ配布を行った。現在、全国的な広がりを

見せる子ども食堂だが、子どもの居場所・地域住民のコミュニティの場としても、大変重要な取り組みと認識している。引き続き、広報活動の協力と共に、継続への課題など一緒に考えて行きたい。



避難所開設対応の改善を

鵜沢一男議員



答 保健センターの開放を検討

問 昨年の台風15号・19号、10月末の豪雨では、家屋・農作物への被害や死傷者も出る被害が発生した。災害時には、生命第一で、早めの避難が重要である。そこで、次の点を伺う。

① 19号では、全員避難の『避難勧告（警戒レベル4）』が出されたが、町民の多くは勧告に従った訳ではない。

町が発令する警戒レベル3・4・5の避難情報が、より町民に受け止めやすいようにすべきである。

② 19号は、早くから気象庁より注意喚起があった。そのため、避難勧告を出す前に、『避難準備・高齢者等避難開始情報（警戒レベル3）』を出すべきではなかったか。

③ 予想される災害の規模が大きい場合は、避難所開設時期を早める必要があるのではないか。

④ 避難所は、全町民の収容が可能か。また、開設された避難所（中央公民館、GSSセンター）以外にも一宮小学校、東浪見小学

校、庁舎4階を同時に開設するなどすべきであった。高齢者・障害者など災害弱者には、今回開設された避難所は不便であり、トイレその他にも配慮された避難所開設をすべきである。

総務課長 ① 警戒レベルごとに住民がとるべき避難行動について、改めて周知する。

② 避難情報の発信時期には、様々な指摘があるため、今後、避難情報を出すタイミングなどの検証も行う、見直す点は改善して行く。

③ 住民が避難勧告等の発令前に自主的に避難する可能性もあるので、自主避難所を早めに開設する。

④ 避難所のあり方については今後検討していくが、避難所の収容人数を勘案すると全町民を収容できない。そのため住民の皆様には、自宅内や近所などの安全な場所の再確認をお願いして行く。

庁舎4階は、津波の緊急指定避難場所であり、現状

洪水、土砂災害避難所

- ・一宮小学校
- ・振武館
- ・一宮中学校
- ・GSSセンター
- ・中央公民館
- ・東浪見小学校



避難所として利用した公民館和室

では、風水害時に避難場所として開設するものではない。しかし、現在指定の避難所で障害者等のトイレ使用など、困難な状況がある場合には、福祉避難所指定である保健センターを避難所として開放する方向で検討する。

※現在、庁舎4階は、洪水・土砂災害の避難所には指定されていません。

あなたも議会を 傍聴しませんか！

次回は3月6日(金)午前9時からの予定です

一般質問

鵜野澤一夫議員



QS6000 収支報告 契約違反では？

答 規則による期限内に提出

オリピック推進課長
 ① 大会への補助金は、当町補助金等交付規則などに基づき交付している。その中で、実績報告書の提出期限は、事業完了から30日を経過した日となっており、補助金申請の時点で、事業完了予定が8月31日であり、提出期限は9月29日となる。昨年は期限までに提出されている。

問 平成30年のQS6000国際サーフィン大会では、主催者のWSLが約400万円の負担に対し、町は、大塚実基金条例を改正までして、公金である基金から2000万円を支出した。この大会について、次の点を伺う。
 ① 収支報告書の提出が大会の4ヶ月後であり、これは契約違反ではないか。
 ② 来年以降のQS6000大会は行うのか。
 ③ 大塚実海と緑の基金条例を元に戻すべきである。
 ④ 国際スポーツ競技大会支援事業補助金交付要綱は削除すべきである。

町長 ② 2020年は、五輪開催の年であり、QS6000の開催予定はない。
 ③ 議会の議決を経て改正したものである。
 ④ このまま運用していく。



QS6000 国際サーフィン大会

加納公石碑銘文の予算は

答 予め計上されていた

問 平成31年3月定例議会に記念事業の石碑設置工事費63万9900円の予算で、石碑の表書は麻生太郎副総理大臣の書との説明があり承諾したが、次の点を伺う。
 ① 石碑の裏全面に、町長名で漢文による銘文が彫られていた。元々予算に含まれていたのか伺う。
 ② 裏面の銘文の説明は、これまで定例議会3回、臨時議会3回あったが、一切説明が無かった。議会を軽視しているのではないかと説明を求める。

企画課長 ① 石碑の裏面に、町長の銘文を刻む予算は、予め計上されていた。
 ② 石碑の裏面の銘文は、予め説明する必要がないと考えたものであり、指摘を踏まえ、今後はより丁寧な説明を心がける。



加納久宜公 石碑裏面の銘文



健康寿命延伸の取組み

議員・事務局職員合同研修会 小林正満

令和元年10月4日に、ホテル一宮シーサイドオーツカで郡内議会議員・事務局職員合同研修会が開催されました。

講師として、厚生労働省健康局健康課課長補佐の相原允一氏を招き、「健康寿命延伸の取組み」の演題で講演されました。

内容としては、

- ・健康をめぐる状況
- ・健康寿命について
- ・健康日本21（第2次）
- ・健康づくりに向けた施策
- ・特定検診・特定保健指導
- ・たばこ対策

健康寿命は、日常生活が制限されることなく生活できる期間と云うことです。

日本の健康寿命は、男女とも世界2位というところで、今後の健康寿命延伸の取組みとして、町での健康づくりの参考にしていきたいと思いました。

議会議員・事務局職員合同研修会



編集後記

袴田 忍 記

令和の新時代に入った昨年は、大型台風が直撃し、記録的な豪雨で河川の氾濫を招き、長生郡市内にも甚大な災害をもたらしました。改めて防災対策・避難誘導の必要性を感じたところです。

今回の定例議会でも数人の議員から「町の防災の取り組みについて」の一般質問がありました。今、町でも一般家庭でも防災は最も関心の高い事柄です。真剣に考えたものです。

さて、今年は2020東京オリンピックの年です。東浪見、釣ヶ崎海岸でのサーフィン競技、そして一宮町も全世界に中継されます。

新たな一宮町を地域と皆さんの手で発信しましょう。今後も皆さんと歩む「議会だより」を宜しくお願い致します。



発行：一宮町議会
 編集：議会報編集委員会
 発行日：2020年2月5日
 〒299-4396 千葉県長生郡
 一宮町一宮2457
 電話 0475(42)1421(直)